

SHD経胸壁心エコー図検査レポート

申請者氏名 ()

様式2中の症例番号	**	年 齢	**	性 別	M
診 断 名	超重症大動脈弁狭窄症			疾患分類	弁・心筋・先天性・その他
検 査 年 月 日	****/ **/**	施 設 名	*****		
経胸壁心エコー図検査所見					
<p>大動脈弁は三尖でいずれの弁尖にも著明な石灰化と可動性の低下を認めたが粗大な腫瘤状の石灰化は認めなかった(図1)。大動脈弁通過血流は最大流速 6.1 m/sec、平均圧較差 90 mmHgであったことから超重症ASと診断した(図2)。左室壁運動は正常、LVDd/LVDs 47/31 mm、LVEDV/LVESV 103.0/31.4 mlと左室径および容量は正常でMOD法によるLVEF 69.5%と収縮力も正常であった(図3)。心室中隔および後壁の壁厚は13/12mm、LV mass index 129.2 g/m²、RWT 0.53と求心性肥大を認めた。左房径 47 mm、左房容積係数 52.0 ml/m²と左房拡大を認めた。左室流入血流はE波 45 cm/s、A波 104 cm/s、E/A 0.43、Dct 250 msで、組織ドブラによる評価はseptal e' 3.5 cm/s、lateral e' 9.5 cm/s、平均E/e' 8.8であった。下大静脈径は18 mmで呼吸性変動はあり、三尖弁逆流は最大流速 2.5 m/sであり肺高血圧は認めなかった。以上より左室拡張機能障害の指標では左房拡大のみを認めた。左室流出血流の評価では一回拍出量78.3 ml、一回拍出係数は45.0 ml/m²であった。連続の式から算出された大動脈弁口面積は0.55 cm²、係数は0.32 cm²/m²であった。大動脈基部の計測値は弁輪径/Valsalva洞径/STJ径/上後大動脈径 22/36/27/34 mmといずれも拡大を認めなかった。</p>					
超 音 波 診 断	動脈硬化性変化による超重症大動脈弁狭窄症、求心性左室肥大、左房拡大				
手術所見および経胸壁心エコー図検査所見と手術所見との対比					
(手術所見)					
<p>大動脈弁は三尖でLCCとRCCの接合部には著明な開放制限を認めた。一見、癒合している様に見えたが分離される三尖であることを確認した。弁輪部の石灰化も著明で三尖の開放制限に大きく関与していたと考えられた。以上の所見は超重症ASの原因として矛盾しないと考えられた。三尖を切除し交連部の石灰化をCUSA(cavitron ultrasonic surgical aspirator)で脱灰した後、生体弁(Inspiris Resilia 21 mm)を縫着した。</p>					
(経胸壁心エコー図検査所見と手術所見との対比)					
<p>ASの重症度を判定する際には大動脈弁通過血流に関する計測値が重要となるが、さらに本症例では正常の左室径と収縮力、大動脈弁の著明な開放制限などを認めたことは超重症ASと判定する際に有用な所見であった。術中所見では弁尖だけでなく弁輪部の著明な石灰化が弁尖可動性低下に大きく関与していたと指摘されたが、術前の経胸壁心エコー図所見ではこのような詳細な観察は困難であった。手術もしくはTAVIという治療法を選択する上では二尖弁の除外が重要となる。術前経胸壁心エコーの大動脈弁短軸拡大像ではLCC-NCCの交連が開いておらず二尖弁のようにも見えた(図1b)。しかし二尖弁の参考所見とされる不均一な大きさの弁尖、低い癒合交連の高さ、上行大動脈の拡大などの所見が認められなかった事に加え、大動脈弁短軸像のカラードブラによる観察では収縮期にLCC-NCC交連部に駆出血流を示すモザイクエコーが認められたことから(図1c)同部に癒合は存在せず三尖であると判定した。手術所見でもLCC、NCC接合部の石灰化が著明で一見癒合している様に見えたが、2つの弁尖は分離されていることが確認され術前診断と一致した。本症例は背景因子から外科手術が妥当と考えるが、大動脈弁の形状はTAVI弁の留置も可能であったと考える。</p>					
最 終 診 断	動脈硬化性変化による超重症大動脈弁狭窄症				

裏面に病態を反映する心エコー図静止画を1～2枚貼付ください。画像からは個人情報情報を抹消し、画像裏面に申請者氏名を記入しはがれないように貼付すること。画像ファイルからペーストしていただいても結構です。レポートの質によっては認証医資格を認めないことがありますのでご注意ください。

[写真貼付欄]

図1a

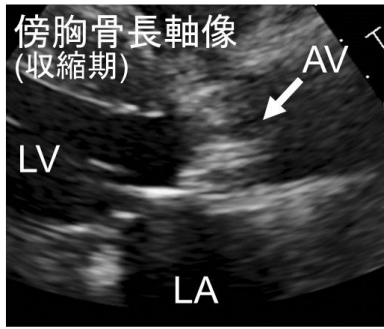


図1b

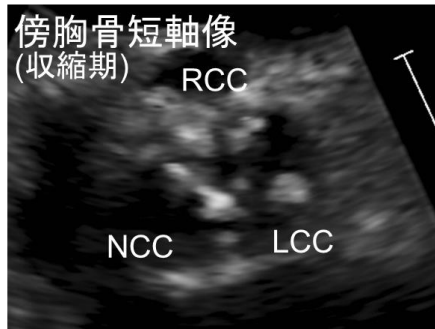


図1c

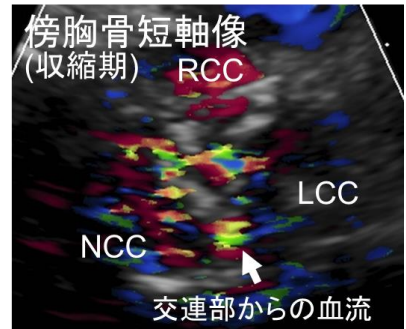


図2

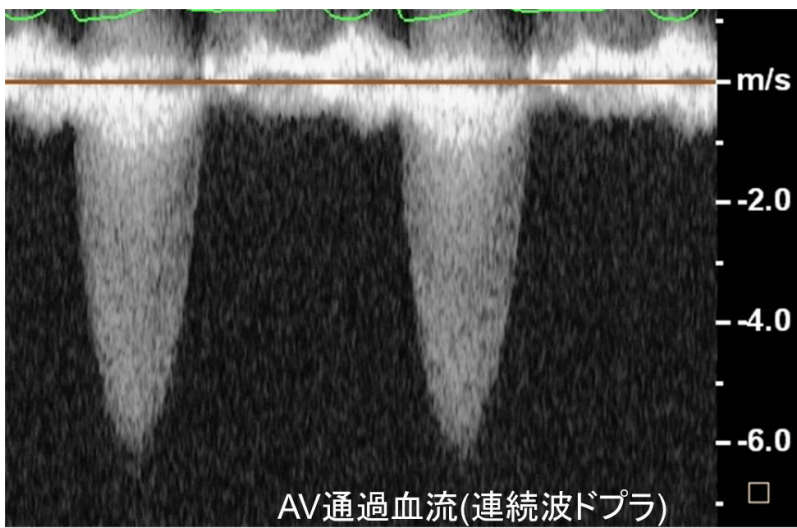


図3

